

I-URIC連携企画 2020年度

# 情報・システム研究機構 機構シンポジウム

## 新型コロナ禍に挑むデータサイエンス ～情報・システムが創り出す新しい将来～

新型コロナウイルスによるパンデミックは、2021年に入りさらに拡大し、今後いつどのように収束するのかは不確定な状況です。リスク社会と言われる現代社会——新たな感染症のような脅威が襲ってきたとき、人類はどのように対処すればよいのでしょうか。本シンポジウムでは、生命、地球環境、人間社会の複雑な現象の解明に情報とシステムの観点から挑む研究機関として、ウイルスの解明から感染拡大モデルの開発、またウィズ&アフターコロナのワーク・ライフ・バランス改善などを含めた人間社会における新しい展望まで、データサイエンスやオープンサイエンスの最新の成果を交えた講演をオンラインにて配信いたします。学生から一般の方々まで、広くみなさまのご参加をお待ちしております。

日時

2021.  
3.2 火  
16:00-19:40



西浦 博 教授



井ノ上 逸朗 教授



村上 大輔 助教



斎藤 正也 准教授

開催  
形態

オンライン開催

参加  
申込

2020年度シンポジウム特設サイト  
<https://sympo2020.rois.jp>

上記サイトの参加申込画面からお申し込みください



水野 貴之 准教授



橋田 元 教授



喜連川 優 所長

### プログラム

(予告なく変更する場合があります)

- 16:00～16:15 開会挨拶:藤井良一 情報・システム研究機構 機構長  
16:15～16:20 来賓挨拶:文部科学省
- 16:20～17:00 招待講演 西浦 博 京都大学 教授  
「新型コロナウイルス感染症の数理モデル  
による疫学データ分析」
- 17:00～17:15 講演① 井ノ上 逸朗 国立遺伝学研究所 教授  
「ゲノム解析からみえるSARS-CoV-2の  
特徴」
- 17:15～17:30 講演② 村上 大輔 統計数理研究所 助教  
「COVID-19流行の地理的要因の解明に  
向けた統計モデリング」
- 17:30～17:45 講演③ 斎藤 正也 長崎県立大学 准教授  
「メタ・ポピュレーションモデルによる  
地方への流入リスク分析」

- 17:55～18:10 講演④ 水野 貴之 国立情報学研究所 准教授  
「人流ビッグデータで振り返る1年」
- 18:10～18:25 講演⑤ 橋田 元 国立極地研究所 教授  
「遠かった昭和基地—新型コロナ禍での  
南極観測」
- 18:25～18:55 特別講演 喜連川 優 国立情報学研究所 所長  
「コロナ禍が示唆する高等教育のニューノーマル  
～20回を超えるサイバーシンポで共有される  
貴重な知見から見える未来の姿～」
- 19:00～19:35 総合討論 パネリスト:講演者 (司会:池谷 瑠絵 主任URA)
- 19:35～19:40 閉会挨拶:津田敏隆 情報・システム研究機構 理事

#### 併催展示

2020年度シンポジウム特設サイトに、本シンポジウムのテーマや当機構に関するコンテンツを掲載いたします